

研究成果の刊行に関する一覧

1. 学会等における口頭・ポスター発表

発表した成果(発表題目、口頭・ポスター発表の別)	発表者氏名	発表した場所(学会等名)	発表した時期	国内・外の別
インターフェロン反応性と耐性変異に基づくDAA治療戦略	黒崎雅之、板倉潤、泉並木	第50回日本肝臓学会総会	2014年5月	国内
B型慢性肝炎に対するペグインターフェロン単独療法、Sequential療法の治療効果の検討	玉城信治、黒崎雅之、泉並木	第50回日本肝臓学会総会	2014年5月	国内
腫瘍部progenitor feature marker発現評価による肝癌再発予測およびHCV陽性肝癌再発抑制治療の実態と新規再発予測マーカーの検討	土谷薫、黒崎雅之、泉並木	第50回日本肝臓学会総会	2014年5月	国内
肝がんに対する複数のバイポーラー電極針を用いたラジオ波焼灼療法の有用性	松田秀哉、玉城信治、土谷薫、高田ひとみ、中嶋奈津子、金子俊、村岡優、山下和子、服部伸洋、安井豊、鈴木祥子、大崎理英、細川貴範、上田研、中西裕之、板倉潤、高橋有香、黒崎雅之、泉並木	第50回日本肝臓学会総会	2014年5月	国内
画像診断は小型低分化型肝細胞癌予測にどこまで迫れるか	安井豊、土谷薫、泉並木	第50回日本肝臓学会総会	2014年5月	国内
B型慢性肝疾患における発癌に寄与する因子の検討ー多施設共同研究ー(口頭発表)	長谷部千登美、折戸悦朗、泉並木	第50回日本肝臓学会総会	2014年5月	国内
一地方都市のかかりつけ医を対象とした肝炎に関する意識調査ー医療連携における問題点(ワークショップ)	阿部真美、中島俊介、澤田康司、長谷部千登美、大竹孝明、高後裕	第50回日本肝臓学会総会	2014年5月	国内
ウイルス肝炎病診連携における連携パスの効用ー導入前後アンケートの比較ー(ワークショップ)	板倉潤、長谷部千登美、泉並木	第50回日本肝臓学会総会	2014年5月	国内
B型慢性肝疾患に対する核酸アナログ治療中の肝発癌に関与する因子についての検討(シンポジウム)	折戸悦朗、長谷部千登美、泉並木	第50回日本肝臓学会総会	2014年5月	国内

腹水・胸水・浮腫を伴う非代償性肝硬変症例に対するトルバプタンの効果およびその効果予測に関する検討(口頭発表)	林秀美, 長谷部千登美, 細木弥生, 藤井常志, 中島駿介, 澤田康司, 阿部真美, 大竹孝明, 高後裕	第50回日本肝臓学会総会	2014年5月	国内
肝細胞癌治療後のC型肝炎に対するインターフェロン療法による再発抑制効果について—全国赤十字病院肝疾患ネットワークによる調査結果(口頭発表)	上甲康二, 後藤亨, 渡邊洋, 満田朱里, 内田靖, 長谷部千登美, 鶴田正太郎, 木村浩之, 小池健郎, 赤松拓司, 泉並木	第50回日本肝臓学会総会	2014年5月	国内
高齢C型肝炎症例に対するインターフェロン治療効果と全身的合併症との関連について(口頭発表)	長谷部千登美, 澤田康司, 林秀美, 藤井常志	第17回日本高齢消化器病学会	2014年7月	国内
腹水・胸水・浮腫を伴う非代償性肝硬変症例に対するトルバプタンの効果に関する検討(口頭発表)	長谷部千登美, 林秀美, 細木弥生, 河端秀賢, 伊東誠, 富永素矢, 藤井常志	北海道門脈圧亢進症研究会	2014年3月	国内
C型慢性肝炎のインターフェロン治療効果における性差の検討(口頭発表)	林秀美, 長谷部千登美, 澤田康司, 細木弥生, 小沼新, 稲場千尋, 石貴大, 伊東誠, 河端秀賢, 藤井常志	第10回消化器病における性差医学・医療研究会	2014年7月	国内
高齢C型慢性肝炎のインターフェロン治療適応検討における全身合併症評価の試み(ポスター発表)	長谷部千登美, 林秀美, 細木弥生, 藤井常志	第18回日本肝臓学会大会	2014年10月	国内
シメプレビル・ペグインターフェロン・リバビリン3剤併用治療におけるHCV RNA breakthrough症例の検討(パネルディスカッション)	細木弥生, 澤田康司, 長谷部千登美	第40回日本肝臓学会東部会	2014年11月	国内
わが国における最近の急性ウイルス性肝炎の実態について	和田秀一, 森 宏光, 清澤研道, 泉並木	第50回日本肝臓学会総会	2014年5月	国内
ウイルス排除と肝発癌抑止を目指したB型肝炎治療戦略:B型慢性肝疾患に対する核酸アナログ治療中の肝発癌に關与する因子についての検討	折戸悦朗, 長谷部千登美, 泉並木	第50回日本肝臓学会総会	2014年5月	国内
肝疾患診療における医療連携の在り方:地域基幹病院である当院における肝疾患病診連携の実情と問題点の検討	日下部篤宣, 小島一星, 野尻優, 吉峯崇, 藤田恭明, 野村智史, 金本高明, 蟹江浩, 坂哲臣, 山田智則, 澤木明, 林克己, 折戸悦朗	第50回日本肝臓学会総会	2014年5月	国内

次世代シーケンサーを用いたPre-S領域の遺伝子学的検討	小松信俊、前川伸哉、佐藤光明、辰巳明久、雨宮史武、中山康弘、井上泰輔、坂本穰、榎本信幸	第24回抗ウイルス療法研究会	2014年5月	国内
B型肝炎の核酸アナログ投与における肝炎抑制効果と発癌	鈴木雄一朗、坂本穰、辰巳明久、佐藤光明、小松信俊、三浦美香、中山康弘、井上泰輔、前川伸哉、榎本信幸	第24回抗ウイルス療法研究会	2014年5月	国内
次世代シーケンサーを用いたNS5A阻害剤耐性変異の検討	前川伸哉、三浦美香、高野伸一、佐藤光明、小松信俊、辰巳明久、雨宮史武、中山康弘、井上泰輔、坂本穰、榎本信幸	第24回抗ウイルス療法研究会	2014年5月	国内
HCV感染者におけるNS3プロテアーゼ阻害剤+NS5A阻害剤耐性変異の検討	前川伸哉、三浦美香、高野伸一、佐藤光明、小松信俊、辰巳明久、雨宮史武、中山康弘、井上泰輔、坂本穰、榎本信幸	第24回抗ウイルス療法研究会	2014年5月	国内
次世代sequencerによるtelaprevir耐性変異の検討	佐藤光明、三浦美香、小松信俊、辰巳明久、雨宮史武、中山康弘、井上泰輔、前川伸哉、坂本穰、榎本信幸	第24回抗ウイルス療法研究会	2014年5月	国内
核酸アナログ療法の有効性に関わるウイルス因子、宿主因子の検討	鈴木雄一朗、坂本穰、榎本信幸	第100回日本消化器病学会総会(ワークショップ)	2014年4月	国内
脈管侵襲をきたした高度進行肝細胞癌に対する治療法とその成績	廣瀬純穂、中山康弘、鈴木雄一朗、佐藤光明、小松信俊、辰巳明久、三浦美香、雨宮史武、中山康弘、井上泰輔、前川伸哉、坂本穰、岡田大樹、荒木拓次、雨宮秀武、松田政徳、榎本信幸	第100回日本消化器病学会総会	2014年4月	国内
発癌リスクと治療反応性、薬剤耐性変異を考慮した難治性C型肝炎治療	坂本穰、三浦美香、佐藤光明、小松信俊、辰巳明久、中山康弘、井上泰輔、前川伸哉、榎本信幸	第100回日本消化器病学会総会	2014年4月	国内
FibroScanによる肝硬度測定および脂肪化測定を用いたNBNC肝癌評価	辰巳明久、佐藤光明、鈴木雄一朗、廣瀬純穂、小松信俊、三浦美香、中山康弘、井上泰輔、坂本穰、榎本信幸	第100回日本消化器病学会総会	2014年4月	国内
発癌リスクとprotease阻害剤を含む3剤併用療法の治療反応性と薬剤耐性変異を考慮したC型慢性肝炎に対する治療戦略	坂本穰、前川伸哉、榎本信幸	第50回日本肝臓学会総会(シンポジウム)	2014年5月	国内

ファイブロスキャンの有用性	鈴木雄一朗、 <u>坂本穰</u> 、榎本信幸	第50回日本肝臓学会総会(シンポジウム)	2014年5月	国内
ファイブロスキャンによる肝硬度とC型肝炎へのインターフェロン治療	井上泰輔、辰巳明久、鈴木雄一朗、佐藤光明、三浦美香、雨宮史武、中山康弘、 <u>坂本穰</u> 、榎本信幸	第50回日本肝臓学会総会(ワークショップ)	2014年5月	国内
次世代sequencerによるtelaprevir耐性変異の解析	佐藤光明、三浦美香、前川伸哉、小松信俊、辰巳明久、中山康弘、井上泰輔、 <u>坂本穰</u> 、榎本信幸	第50回日本肝臓学会総会	2014年5月	国内
Deep sequencingを用いたnaturally-occurring DAA resistant HCVの検討	前川伸哉、三浦美香、辰巳明久、小松信俊、佐藤光明、鈴木雄一朗、雨宮史武、中山康弘、井上泰輔、 <u>坂本穰</u> 、榎本信幸	第50回日本肝臓学会総会	2014年5月	国内
EOB-MRI肝細胞相で低信号を示す乏血性結節と発癌リスクの検討	小松信俊、 <u>坂本穰</u> 、榎本信幸	第50回日本肝癌研究会(シンポジウム)	2014年6月	国内
肝細胞癌に対する定位放射線療法の成績	佐藤光明、中山康弘、小松信俊、辰巳明久、三浦美香、雨宮史武、井上泰輔、 <u>坂本穰</u> 、前島良康、栗山健吾、大西洋、榎本信幸	第50回日本肝癌研究会(ワークショップ)	2014年6月	国内
当院における非B非C型肝炎細胞癌の臨床的特徴	雨宮史武、加藤亮、石田泰章、早川宏、川上智、小馬瀬一樹、門倉信、中山康弘、井上泰輔、前川伸哉、 <u>坂本穰</u> 、榎本信幸	第50回日本肝癌研究会	2014年6月	国内
The Impact of the recently-found SNPs on liver fibrosis in chronic HBV and HCV hepatitis.	S.Maekawa、 <u>M.Sakamoto</u> 、N.enomoto	第18回日本肝臓学会大会(JDDW)	2014年10月	国内
核酸アナログの発癌抑制に及ぼす影響と予後の検討	鈴木雄一朗、 <u>坂本穰</u> 、榎本信幸	第18回日本肝臓学会大会(JDDW)(シンポジウム)	2014年10月	国内
治療反応性と薬剤耐性変異を考慮したC型肝炎の治療戦略	<u>坂本穰</u> 、前川伸哉、榎本信幸	第18回日本肝臓学会大会(JDDW)(シンポジウム)	2014年10月	国内

次世代シーケンサーを用いたPre-S領域の遺伝子学的検討	小松信俊、前川伸哉、佐藤光明、辰巳明久、雨宮史武、中山康弘、井上泰輔、坂本穰、榎本信幸。	第18回日本肝臓学会大会(JDDW)	2014年10月	国内
FibroscanによるNBNC-HCC高危険群困い込みと検診への応用	村岡優、坂本穰、辰巳明久、鈴木雄一郎、佐藤光明、小松信俊、三浦美香、中山康弘、井上泰輔、前川伸哉、榎本信幸	第18回日本肝臓学会大会(JDDW)	2014年10月	国内
EOB-MRI肝細胞相を用いた発癌リスクの検討	小松信俊、本杉宇太郎、佐藤光明、辰巳明久、雨宮史武、中山康弘、井上泰輔、坂本穰、市川智章、榎本信幸	第18回日本肝臓学会大会(JDDW)	2014年10月	国内
次世代シーケンサーによるtelaprevir耐性変異の解析	佐藤光明、三浦美香、小松信俊、辰巳明久、中山康弘、井上泰輔、前川伸哉、坂本穰、榎本信幸	第18回日本肝臓学会大会(JDDW)	2014年10月	国内
薬剤耐性変異を考慮したC型肝炎治療と発癌抑制からみた治療法選択	坂本穰、前川伸哉、榎本信幸	第40回日本肝臓学会東部会(シンポジウム)	2014年11月	国内
B型肝炎におけるFibroscan測定の意味	鈴木雄一郎、坂本穰、榎本信幸	第40回日本肝臓学会東部会(パネルディスカッション)	2014年11月	国内
ウイルス性肝炎の病態進展におけるMICA、DEPDC5、PNPLA3遺伝子多型の臨床的意義の検討	前川伸哉、坂本穰、榎本信幸	第40回日本肝臓学会東部会(ワークショップ)	2014年11月	国内
次世代sequencerによるtelaprevir耐性変異とquasispeciesの動態の解析	佐藤光明、前川伸哉、小松信俊、辰巳明久、雨宮史武、中山康弘、井上泰輔、坂本穰、榎本信幸	第40回日本肝臓学会東部会	2014年11月	国内
Gene alterations in β -catenin and p53/ cell cycle control pathway are closely associated with development and prognosis of hepatocellular carcinoma: Comprehensive analyses by next generation sequencing technology. (口頭)	Kawai-Kitahata F, Asahina Y, Kaneko S, Nagata H, Goto F, Otani S, Taniguchi M, Murakawa M, Nitta S, Watanabe T, Tasaka-Fujita M, Itsui Y, Nakagawa M, Kakinuma S, Enomoto N, Watanabe M	The 65th Annual Meeting of the American Association for the Study of Liver Disease (AASLD The Liver Meeting 2014) Boston, USA	2014年11月	国外

Impact of host and therapeutic factors and resistant associated variants on response to interferon based- direct acting antiviral treatment in difficult-to-treat chronic hepatitis C patients. (ポスター)	Nakagawa M, <u>Asahina Y</u> , Taniguchi M, Watanabe T, Nishimura-Sakurai Y, Itsui Y, Azuma S, Kakinuma S, Tanaka Y, Watanabe M	The 65th Annual Meeting of the American Association for the Study of Liver Disease (AASLD The Liver Meeting 2014) Boston, USA	2014年11月	国外
Expression of IFN/4 in liver and PBMC is closely associated with higher basal expression of ISGs and impaired induction of IL28B by interferon treatment in chronic hepatitis C non-responder patients. (ポスター)	Murakawa M, <u>Asahina Y</u> , Nakagawa M, Sakamoto N, Nitta S, Kawai-Kitahata F, Taniguchi M, Watanabe T, Itsui Y, Kakinuma S, Watanabe M	The 65th Annual Meeting of the American Association for the Study of Liver Disease (AASLD The Liver Meeting 2014) Boston, USA	2014年11月	国外
Emergence or selection of resistant associated variant immediately after initiation of the therapy is predictive for failure of direct acting antiviral therapy: ultra-deep sequencing analyses for serial time points. (ポスター)	Watanabe T, <u>Asahina Y</u> , Nakagawa M, Kakinuma S, YItui Y, Taniguchi T, Murakawa M, Nagata H, Miura M, Maekawa S, Enomoto E, Watanabe M	The 65th Annual Meeting of the American Association for the Study of Liver Disease (AASLD The Liver Meeting 2014) Boston, USA	2014年11月	国外
Matrix Metalloproteinase-14 regulates the maturation of fetal hepatic stem/progenitor cells in mice. (ポスター)	Otani S, Kakinuma S, Kamiya A, Goto F, Kaneko S, Azuma S, <u>Asahina Y</u> , Watanabe M	The 65th Annual Meeting of the American Association for the Study of Liver Disease (AASLD The Liver Meeting 2014) Boston, USA	2014年11月	国外
Clinical outcomes in patients who develop hepatocellular carcinoma after hepatitis C viral eradication by antiviral therapy. (ポスター)	Tsuchiya K, Yasui Y, Tamaki N, Suzuki S, Hosokawa T, Nakanishi H, Itakura J, Takahashi Y, <u>Kurosaki M</u> , <u>Asahina Y</u> , <u>Izumi N</u>	The 65th Annual Meeting of the American Association for the Study of Liver Disease (AASLD The Liver Meeting 2014) Boston, USA	2014年11月	国外
Associations of HLA-DPB1 with CHB infection and HBV related HCC in Asia.	Nishida N, Sawai H, Kashiwase K, Minami M, Yamamoto K, Sasazuki T, Sugiyama M, Seto W, Yuen M, Poovorawan Y, Ahn SH, Han K, Matsuura K, Tanaka Y, <u>Kurosaki M</u> , <u>Asahina Y</u> , <u>Izumi N</u> , Kang J, Hige S, Ide T, Yamamoto K, Sakaida I, Murawaki Y, Itoh Y, Tamori A, <u>Orito E</u> , Hiasa Y, Honda M, Kaneko S, Mita E, Suzuki K, Hino K, Tanaka E, Mochida S, Watanabe M, Eguchi Y, Korenaga M, Kawashima M, Tokunaga K, Mizokami M	The 65th Annual Meeting of the American Association for the Study of Liver Disease (AASLD The Liver Meeting 2014) Boston, USA	2014年11月	国外

Impaired IL28B gene induction and expression of IFNλ4 influenced by the polymorphisms near IL28B gene are closely associated with a non-response to interferon in chronic hepatitis C patients.	<u>Asahina Y</u> , Murakawa M, Nitta S, Itsui Y, Nakagawa M, Azuma S, Kakinuma S, Watanabe M	The 49th annual meeting of the European association for the study of the liver (EASL The International Liver Congress 2014) London, UK	2014年4月	国外
Gadolinium ethoxybenzyl diethylenetriaminepentaacetic acid magnetic resonance imaging and contrast enhanced ultrasonography with sonazoid as part of therapeutic strategies for small nonhypervascular hepatic nodular lesions.	Tsuchiya K, Yasui Y, Takada N, Nakakuki S, Matsuda S, Kaneko S, Muraoka M, Yamashita N, Hattori N, Tamaki N, Osaki S, Suzuki T, Hosokawa K, Ueda K, Nakanishi H, Itakura J, Takahashi Y, <u>Kurosaki M</u> , <u>Asahina Y</u> , <u>Izumi N</u>	The 49th annual meeting of the European association for the study of the liver (EASL The International Liver Congress 2014) London, UK	2014年4月	国外
難治性C型慢性肝炎に対するプロテアーゼ3剤併用療法の治療効果とDAA耐性変異の検討	中川美奈, <u>朝比奈靖造</u> , 渡辺 守	第40回日本肝臓会東部会 東京	2014年11月	国内
NS3およびNS5A阻害剤耐性変異とシメプレビルおよびテラプレビル3剤併用療法の治療効果	<u>朝比奈靖造</u> , 中川美奈, 渡辺 守	第50回日本肝臓会総会 東京	2014年5月	国内
NS3およびNS5A阻害剤耐性変異とシメプレビルおよびテラプレビル3剤併用療法の治療効果	<u>朝比奈靖造</u>	第50回日本肝臓会総会 東京	2014年5月	国内
C型慢性肝炎に対するインターフェロンをベースとしたプロテアーゼ3剤併用療法の治療効果とDAA耐性変異の検討	中川美奈, <u>朝比奈靖造</u> , 渡辺 守	第19回日本肝臓会大会 神戸	2014年10月	国内
B型慢性肝疾患における核酸アナログ治療中の肝発癌危険因子の検討	櫻井幸, <u>朝比奈靖造</u> , 渡辺 守	第40回日本肝臓会東部会 東京	2014年11月	国内
高齢者C型慢性肝炎へのIFN治療後発癌と発癌に関与する因子の解析	井津井康浩, <u>朝比奈靖造</u> , 渡辺 守	第19回日本肝臓会大会 神戸	2014年10月	国内
ウイルス性急性肝炎およびde novo B型肝炎の動向	井津井康浩, <u>朝比奈靖造</u> , 渡辺 守	第40回日本肝臓会東部会 東京	2014年11月	国内

肝細胞癌スクリーニング時における拡散強調画像陽性所見の重要性	東正新, 朝比奈靖浩, 渡辺 守	第40回日本肝臓会東部会 東京	2014年11月	国内
C型慢性肝炎治療におけるIFN不応性に関わるIL28B近傍遺伝子多型(SNP)と血球内IFNλ 産生能の関連	村川美也子, 朝比奈靖浩, 中川美奈, 後藤文男, 大谷賢志, 河合富貴子, 谷口未樹, 新田沙由梨, 渡辺貴子, 櫻井幸, 井津井康浩, 東正新, 柿沼晴, 坂本直哉, 渡辺 守	第50回日本肝臓会総会 東京	2014年5月	国内
インターフェロン治療後の線維化マーカーの推移と発癌リスクの検討	中川美奈, 朝比奈靖浩, 渡辺 守	第50回日本肝臓会総会 東京	2014年5月	国内
次世代プロテアーゼ阻害剤併用3剤治療の適応症例の検討	中川美奈, 朝比奈靖浩, 渡辺 守	第100回日本消化器病学会総会 東京	2014年4月	国内
“難治性C型肝炎に対するSMV/Peg-IFN/RBV併用療法の有用性について” シンポジウム	竹原徹郎, 平松直樹, 林 紀夫.	第50回日本肝臓学会総会(東京)	2014年	国内
“C型肝炎に対するSMV/Peg-IFN/RBV併用療法の抗ウイルス効果と副反応について” パネルディスカッション	平松直樹, 竹原徹郎, 林 紀夫.	第18回日本肝臓学会大会, 第56回日本消化器病学会大会(神戸)	2014年	国内
MANAGEMENT OF HYPOVASCULAR HYPOINTENSE NODULES ON HEPATOBILIARY PHASE OF GD-EOB-DTPA ENHANCED MRI.	Azusa Sakamoto, Ryuichi Kita, Masatsugu Endo, Gensho Tange, Ryota Sada, Manabu Fukuhara, Saiko Marui, Yoshiaki Ohara, Jun Nakajima, Fumihiko Matsuda, Shinichiro Henmi, Sumio Saito, Norihiro Noshijima, Akihiro Nasu, Hiroki Nishikawa, Hideyuki Komekado, Toru Kimura, Yukio Osaki.	EASL2014 2014.04.09-13 London	2014年4月	国外
ONCE-DAILY ORAL LUSUTROMBOPAG, ALTERNATIVE TO PLATELET TRANSFUSION IN THROMBOCYTOPENIC PATIENTS WITH CHRONIC LIVER DISEASE UNDERGOING RADIOFREQUENCY ABLATION: RESULTS FROM A PHASE 2B, RANDOMIZED, DOUBLE-BLIND STUDY.	<u>N. Izumi</u> , R. Tateishi, M. Seike, M. Kudo, H. Tamai, S. Kawazoe, K. Tanaka, <u>Y. Osaki</u> , K. Yamamoto, M. Imawari.	EASL2014 2014.04.09-13 London	2014年4月	国外

Multicenter observational study of reactivation of hepatitis B virus caused by chemotherapy for solid tumors.	Shunsuke Kondo, Masafumi Ikeda, Masatoshi Kudo, Seijin Nadano, Junji Furuse, <u>Yukio Osaki</u> , Takashi Kumada, Kazuyoshi Ohkawa, Masashi Mizokami.	ASCO2014 2014.05.30 Chicago	2014年5月	国外
MANEGEMENT OF HYPOVASCULAR HYPOINTENSE NODULES ON HEPATOBIILIARY PHASE OF GD-EOB-DTPA ENHANCED MRI	A.Sakamoto, M.Endo, Y.Ohara, S.Saito, N.Nishijima, A.Nasu, H.Nishikawa, H.Komekado, R.Kita, T.Kimura, <u>Y.Osaki</u> .	8th ILCA Annual Conference 2014.09.05-07 Kyoto	2014年9月	国内
A NEW PROGNOSTIC MODEL FOR UNRESECTABLE HEPATOCELLULAR CARCINOMA TREATED WITH SORAFENIB : A LARGE MULTICENTER STUDY IN JAPAN.	H.Takeda, H.Nishikawa, <u>Y.Osaki</u> , K.Tsuchiya, <u>N.Izumi</u> .	8th ILCA Annual Conference 2014.09.05-07 Kyoto	2014年9月	国内
THE EFFECTS OF REDUCED DOSE OF SORAFENIB FOR UNRESECTABLE HEPATOCELLULAR CARCINOMA : A PROPENSITY SCORE MATCHING ANALYSIS.	M.Endo, H.Takeda, H.Nishikawa, Y.Osaki, K.Tsuchiya, <u>K.Joko</u> , C.Ogawa, H.Taniguchi, <u>E.Orito</u> , Y.Uchida, <u>N.IZumi</u> .	8th ILCA Annual Conference 2014.09.05-07 Kyoto	2014年9月	国内
B-MODE ULTRASONOGRAPHY VERSUS CONTRAST-ENHANCED ULTRASONOGRAPHY FOR SURVEILLANCE OF HEPATOCELLULAR CARCINOMA : A PROSPECTIVE MULTICENTER RANDOMIZED CONTROLLED TRIAL(NCT01507168).	M.Kudo, K.Ueshima, <u>Y.Osaki</u> , M.Hirooka, Y.Imai, K.Aso, K.Numata, M.Ichinose, T.Kumada, <u>N.Izumi</u> , Y.Sumino, K.Akazawa.	8th ILCA Annual Conference 2014.09.05-07 Kyoto	2014年9月	国内
Gd-EOB-DTPA造影MRI肝細胞相画像を軸とした非多血性肝細胞結節に対する治療戦略	坂本 梓, 木村 達, <u>大崎往夫</u>	第100回日本消化器病学会総会 2014.04.23-26 東京	2014年4月	国内
FibroScanにより測定された肝硬度値に対する肝内炎症の影響	米門秀行, 木村 達, <u>大崎往夫</u>	日本超音波医学会第87回学術集会 2014.05.09-11 横浜	2014年5月	国内

EOB-MRI肝細胞相低信号を呈する非多血性結節の組織及び経過観察による悪性度評価	坂本 梓, 喜多竜一, 奥 久徳, 佐田遼太, 福原 学, 丸井彩子, 井口恵里子, 大原芳章, 竹田治彦, 齋藤澄夫, 西島規浩, 那須章洋, 西川浩樹, 米門秀行, 木村 達, 大崎往夫.	第50回日本肝臓学会総会 2014.05.29-30 東京	2014年5月	国内
Volume Navigation SystemにおけるActive Trackerの有用性	坂本 梓, 喜多竜一, 奥 久徳, 佐田遼太, 福原 学, 丸井彩子, 井口恵里子, 大原芳章, 竹田治彦, 齋藤澄夫, 西島規浩, 那須章洋, 西川浩樹, 米門秀行, 木村 達, 大崎往夫.	第50回日本肝臓研究会 2014.06.05-06 京都	2014年6月	国内
Child C 肝硬変合併肝臓症例における治療例と未治療例の予後の比較	西川浩樹, 遠藤正嗣, 丹家元祥, 佐田遼太, 丸井彩子, 福原 学, 井口恵里子, 大原芳章, 竹田治彦, 坂本 梓, 齋藤澄夫, 西島規浩, 那須章洋, 米門秀行, 喜多竜一, 木村 達, 大崎往夫.	第50回日本肝臓研究会 2014.06.05-06 京都	2014年6月	国内
ソラフェニブ投与後3年以上生存例の検討～全国赤十字病院肝疾患ネットワークによる多施設共同研究	西島規浩, 竹田治彦, 土谷 薫, 上甲康二, 河南智晴, 谷口博順, 折戸悦郎, 内田 靖, 泉 並木, 大崎往夫	第50回日本肝臓研究会 2014.06.05-06 京都	2014年6月	国内
Celon 20mmアプリーケーター1本使用時における凝固域拡大を目指した出力プロトコールの検討	那須章洋, 木村 達, 大崎往夫	第50回日本肝臓研究会 2014.06.05-06 京都	2014年6月	国内
当院における人工胸水および人工腹水を併用した超音波誘導下経皮的ラジオ波熱凝固療法(RFA)の実際	木村 達, 大崎往夫, 喜多竜一, 米門秀行, 西川浩樹, 那須章洋, 西島規浩, 坂本 梓, 齋藤澄夫, 邊見慎一郎, 松田史博, 中島 潤, 竹田治彦, 大原芳章, 井口恵里子, 佐田遼太, 福原 学, 丸井彩子, 遠藤正嗣, 丹家元祥	第50回日本肝臓研究会 2014.06.05-06 京都	2014年6月	国内
切除不能肝臓に対するソラフェニブ奏効例の臨床的特徴—多施設共同研究	大崎往夫	第12回日本臨床腫瘍学会学術講演会 2014.07.17-19 福岡	2014年7月	国内
肝細胞癌ソラフェニブ治療例における高齢者と非高齢者の予後の比較(多施設共同研究)	西川浩樹, 大崎往夫, 泉 並木	第18回日本肝臓学会大会 2014.10.23-24 神戸	2014年10月	国内

Volume Navigation SystemにおけるActive Trackerの有効性	坂本 梓, 木村 達, 齋藤澄夫, 西島規浩, 那須章洋, 米門秀行, 喜多竜一, 岡部純弘, 谷口敏勝, 大崎往夫	日本超音波医学会第87回学術集会 2014.05.09-11 横浜	2014年5月	国内
高齢者Genotype I b高ウイルス量のC型慢性肝炎患者における治療効果と安全性～ReGIT-J試験の層別解析～	西川浩樹, 榎本平之, 齋藤正紀, 会澤信弘, 津田泰宏, 樋口和秀, 岡崎和一, 関 寿人, 金 守良, 本合 泰, 城村尚登, 西田直生志, 工藤正俊, 大崎往夫, 西口修平	第50回日本肝臓学会総会 2014.05.29-30 東京	2014年5月	国内
テラプレビル3剤併用療法症例における, 治療前血清インターフェロンγ 誘導性蛋白10kDa(IP-10)測定の意義(多施設共同研究)	西川浩樹, 大崎往夫, 西口修平	第50回日本肝臓学会総会 2014.05.29-30 東京	2014年5月	国内
B型肝炎における核酸アナログ投与下での発癌リスク因子の検討～AFP値の推移と発癌との関連～	西島規浩, 丹家元祥, 遠藤正嗣, 佐田遼太, 福原 学, 丸井彩子, 奥久徳, 大原芳章, 井口恵里子, 竹田治彦, 中島 潤, 松田史博, 邊見慎一郎, 坂本 梓, 齋藤澄夫, 那須章洋, 西川浩樹, 米門秀行, 関川昭, 津村剛彦, 喜多竜一, 圓尾隆典, 岡部純弘, 木村 達, 大崎往夫	第50回日本肝臓学会総会 2014.05.29-30 東京	2014年5月	国内
切除不能肝癌に対するSorafenib療法の奏効に係る因子の検討～全国赤十字病院における多施設共同研究	竹田治彦, 大崎往夫, 西川浩樹, 土谷 薫, 上甲康二, 小川 力, 谷口博順, 折戸悦郎, 内田 靖, 泉並木	第50回日本肝臓学会総会 2014.05.29-30 東京	2014年5月	国内
バルーン閉塞下リピオドールエマルジョン動注に関する初期検討	喜多竜一, 井口恵里子, 竹田治彦, 大原芳章, 坂本 梓, 齋藤澄夫, 西島規浩, 那須章洋, 西川浩樹, 木村 達, 大崎往夫	第50回日本肝癌研究会 2014.06.05-06 京都	2014年6月	国内
EOB-MRI肝細胞相で低信号を呈する非多血性肝細胞性結節に対する治療指針	坂本 梓, 木村 達, 佐田遼太, 福原 学, 丸井彩子, 大原芳章, 中島潤, 松田史博, 邊見慎一郎, 齋藤澄夫, 西島規浩, 那須章洋, 西川浩樹, 米門秀行, 関川 昭, 津村剛彦, 喜多竜一, 圓尾隆典, 大崎往夫	第56回日本消化器病学会大会 2014.10.23-26 神戸	2014年10月	国内
テラプレビル3剤併用療法症例における, 治療前血清インターフェロンγ 誘導性蛋白10kDa(IP-10)測定の意義(多施設共同研究)	西川浩樹, 大崎往夫, 河田則文, 西口修平	日本消化器病学会近畿支部第101回例会 2014.10.04 大阪	2014年10月	国内
慢性肝疾患及び急性肝障害に対するFibroScanを用いた肝硬度測定の意義	米門秀行, 那須章洋, 木村 達, 大崎往夫	日本消化器病学会近畿支部第101回例会 2014.10.04 大阪	2014年10月	国内

2. 学会誌・雑誌等における論文掲載

掲載した論文(発表題目)	発表者氏名	発表した場所 (学会誌・雑誌等名)	発表した 時期	国内・外の別
Augmented hepatic Toll-like receptors by fatty acids trigger the pro-inflammatory state of non-alcoholic fatty liver disease in mice.	Sawada K, Ohtake T, Hasebe T, Abe M, Tanaka H, Ikuta K, Suzuki Y, Fujiya M, Hasebe C, Kohgo Y	Hepatology Res 2014; 44:920-934	2014	国内
Effectiveness of pazopanib for postoperative recurrence of granulocyte colony-stimulating factor-producing primary hepatic angiosarcoma.	Sawada K, Soma M, Nakajima S, Hasebe T, Maeda S, Abe M, Ohtake T, Saito Y, Hasebe C, Yamamoto M, Fujiya M, Torimoto Y, Kohgo Y	Int Canc Conf J 2015; 4:41-47	2015	国内
腹水・浮腫を伴う非代償性肝硬変に対するトルバプタンの効果－尿浸透圧による有効性の評価－.	林秀美, 長谷部千登美, 澤田康司, 細木弥生, 藤井常志	Fluid Management Renaissance 2014; 4:90-94	2014	国内
薬物性肝障害の新展開－疑問点の集約とその解決を探る 強力ネオミノファーゲンC(SNMC)の効果	長谷部千登美	肝胆臓2014;68:263-266	2014	国内
Actin directly interacts with different membrane channel proteins and influences channel activities: AQP2 as a model	Sasaki S, Yui N, Noda Y	Biochimica et Biophysica Acta-Biomembranes	2014	国外
Hepatocellular carcinoma risk assessment using gadoxetic acid-enhanced hepatocyte phase magnetic resonance imaging.	Komatsu N, Motosugi U, Maekawa S, Shindo K, Sakamoto M, Sato M, Tatsumi A, Miura M, Amemiya F, Nakayama Y, Inoue T, Fukasawa M, Uetake T, Ohtaka M, Sato T, Asahina Y, Kurosaki M, Izumi N, Ichikawa T, Araki T, Enomoto N.	Hepatol Res	2014	国内
Deep sequencing analysis of variants resistant to the NS5A inhibitor daclatasvir in patients with genotype 1n hepatitis C virus infection.	Miura M, Maekawa S, Sato M, Komatsu N, Tatsumi A, Takano S, Amemiya F, Nakayama Y, Inoue T, Sakamoto M, Enomoto N.	Hepatol Res	2014	国内
Liver Stiffness Measurement for Risk Assessment of Hepatocellular Carcinoma.	Tatsumi A, Maekawa S, Sato M, Komatsu N, Miura M, Amemiya F, Nakayama Y, Inoue T, Sakamoto M, Enomoto N.	Hepatol Res	2014	国内

線維化進展例に対する3剤併用療法	坂本穂、榎本信幸	医学のあゆみ	2014	国内
C型慢性肝炎、肝硬変、診療ガイドライン UP-TO-DATE	坂本穂、榎本信幸	診療ガイドラインUP-TO-DATE	2014	国内
C型肝炎の治療目標	坂本穂、榎本信幸	HEPATOLOGY PRACTICE C型肝炎の診療を極める	2014	国内
DAA時代におけるインターフェロンの意義	坂本穂、榎本信幸	Mebio	2014	国内
DAA併用療法 (IFN based regimen)	坂本穂、榎本信幸	C型肝炎治療 ～DAAsで広がる治療対象～	2014	国内
C型肝炎治療における宿主因子とウイルス因子	坂本穂、榎本信幸	日本臨床	2015	国内
Daclatasvir combined with peginterferon alfa-2a and ribavirin in Japanese patients infected with hepatitis C genotype 1	<u>Izumi N.</u> , Yokosuka O, Kawada N, <u>Osaki Y.</u> , Yamamoto K, Sata M, Ishikawa H, Ueki T, Hu W, McPhee F, A Hughes E, Kumada H.	Antivir Ther	2014	国内
Changes in plasma vascular endothelial growth factor at 8 weeks after sorafenib administration as predictors of survival for advancedhepatocellular carcinoma.	Tsuchiya K, <u>Asahina Y.</u> , Matsuda S, Muraoka M, Nakata T, Suzuki Y, Tamaki N, Yasui Y, Suzuki S, Hosokawa T, nishimura T, Ueda K, Kuzuya T, Nakanishi H, Itakura J, Takahashi Y, <u>Kurosaki M.</u> , Enomoto N, <u>Izumi N.</u>	Cancer	2014	国内
discriminal of fibrotic staging of chronic hepatitis C using multiple fibrotic markers.	Ikeda K, <u>Izumi N.</u> , Tanaka E, Yotsuyanagi H, Takahashi Y, Fukushima J, Kondo F, Fukusato T, koike K, hayashi N, Tsubouchi H, Kumada H.	Hepatol Res	2014	国内

Genetic variation near interleukin 28B and the risk of hepatocellular carcinoma in patients with chronic hepatitis C.	<u>Asahina Y</u> , Tsuchiya K, Nishimura T, Muraoka M, Suzuki Y, Tamaki N, Yasui Y, Hosokawa T, Ueda K, Nakanishi H, Itakura J, Takahashi Y, Kurosaki M, Enomoto N, Nakagawa M, Kakinuma S, Watanabe M, <u>Izumi N</u> .	J Gastroenterol	2014	国内
Prospective comparison of real-time tissue elastography and serum fibrosis markers for the estimation of liver fibrosis in chronic hepatitis C patients.	Tamaki N, <u>Kurosaki M</u> , Matsuda S, Nakata T, Muraoka M, Suzuki Y, Yasui Y, Suzuki S, Hosokawa T, Nishimura T, Ueda K, Tsuchiya K, Nakanishi H, Itakura J, Takahashi Y, Matsunaga K, Taki K, <u>Asahina Y</u> , <u>Izumi N</u> .	Hepatol Res	2014	国内
Impaired brain activity in cirrhotic patients with minimal hepatic encephalopathy: Evaluation by near-infrared spectroscopy.	Nakanishi H, <u>Kurosaki M</u> , Nakanishi K, Tsuchiya K, Noda T, Tamaki N, Yasui Y, Hosokawa T, Ueda K, Itakura J, Anami K, <u>Asahina Y</u> , Enomoto N, Higuchi T, <u>Izumi N</u> .	Hepatol Res	2014	国内
Impaired induction of IL28B and expression of IFNλ4 associated with non-response to interferon-based therapy in chronic hepatitis C.	Murakawa M*, <u>Asahina Y*</u> , Nakagawa M, Sakamoto N, Nitta S, Kitazume-Kusano A, Watanabe T, Kawai-Kitabatake F, Otani S, Taniguchi M, Goto F, Nishimura-Sakurai N, Itsui Y, Azuma S, Kakinuma S, Watanabe M. *MM and YA contributed equally to this work	J Gastroenterol Hepatol doi: 10.1111/jgh.12902.	2015	国外
Changes in plasma vascular endothelial growth factor at 8 weeks after sorafenib administration as predictors of survival for advanced hepatocellular carcinoma.	Tsuchiya K*, <u>Asahina Y*</u> , Matsuda S, Muraoka M, Nakata T, Suzuki Y, Tamaki N, Yasui Y, Suzuki S, Hosokawa T, Nishimura T, Ueda K, Kuzuya T, Nakanishi H, Itakura J, Takahashi Y, <u>Kurosaki M</u> , Enomoto N, <u>Izumi N</u> . *These authors contributed equally to this study.	Cancer 120: 229–273	2014	国外
Risk factors for exceeding the Milan criteria after successful radiofrequency ablation in patients with early stage hepatocellular carcinoma.	Tsuchiya K, <u>Asahina Y</u> , Tamaki N, Yasui Y, Hosokawa T, Ueda K, Nakanishi H, Itakura J, <u>Kurosaki M</u> , Enomoto N, <u>Izumi N</u>	Liver Transpl 20: 291–297	2014	国外
Reduced organic anion transporter expression is a risk factor for hepatocellular carcinoma in chronic hepatitis C patients: A propensity score matching study.	Yasui Y, Kudo A, <u>Kurosaki M</u> , Matsuda S, Muraoka M, Tamaki N, Suzuki S, Hosokawa T, Ueda K, Matsunaga K, Nakanishi H, Tsuchiya K, Itakura J, Takahashi Y, Tanaka S, <u>Asahina Y</u> , Enomoto N, Arai S, <u>Izumi N</u>	Oncology 86: 53–62	2014	国外

Serum granulysin levels as a predictor of serious telaprevir-induced dermatological reactions.	Suda G, Yamamoto Y, Nagasaka A, Furuya K, Kudo M, Yoshimichi C, Tsukuda Y, Tsunematsu S, Sato F, Terasita K, Nakai M, Horimoto H, Sho T, Natsuizka M, Ogawa K, Ohnishi S, Chuma M, Fujita Y, Abe R, Taniguchi M, Nakagawa M, <u>Asahina Y</u> , Sakamoto N	Hepatology Res doi: 10.1111/hepr.12421	2014	国内
New Susceptibility and Resistance HLA-DP Alleles to HBV-Related Diseases Identified by a Trans-Ethnic Association Study in Asia.	Nishida N, Sawai H, Kashiwase K, Minami M, Sugiyama M, Seto WK, Yuen MF, Posuwan N, Poovorawan Y, Ahn SH, Han KH, Matsuura K, Tanaka Y, <u>Kurosaki M</u> , <u>Asahina Y</u> , <u>Izumi N</u> , Kang JH, Hige S, Ide T, Yamamoto K, Sakaida I, Murawaki Y, Itoh Y, Tamori A, <u>Orito E</u> , Hiasa Y, Honda M, Kaneko S, Mita E, Suzuki K, Hino K, Tanaka E, Mochida S, Watanabe M, Eguchi Y, Masaki N, Murata K, Korenaga M, Mawatari Y, Ohashi J, Kawashima M, Tokunaga K, Mizokami M	PLoS One 9: e86449	2014	国外
Impaired brain activity in cirrhotic patients with minimal hepatic encephalopathy: evaluation by near infrared spectroscopy.	Nakanishi H, <u>Kurosaki M</u> , Nakanishi K, Tsuchiya K, Noda T, Tamaki N, Yasui Y, Hosokawa T, Ueda K, Itakura J, Anami K, <u>Asahina Y</u> , Enomoto N, Higuchi T, <u>Izumi N</u>	Hepatology Res 44: 319–326	2014	国内
Hepatocellular carcinoma risk assessment using gadoxetic acid-enhanced hepatocyte phase magnetic resonance imaging.	Komatsu N, Motosugi U, Maekawa S, Shindo K, Sakamoto M, Sato M, Tatsumi A, Miura M, Amemiya F, Nakayama Y, Inoue T, Fukasawa M, Uetake T, Ohtaka M, Sato T, <u>Asahina Y</u> , Kurosaki M, <u>Izumi N</u> , Ichikawa T, Araki T, Enomoto N	Hepatology Res 44:1339-1346 doi: 10.1111/hepr.12309	2014	国外
Prospective comparison of real-time tissue elastography and serum fibrosis markers for the estimation of liver fibrosis in chronic hepatitis C patients.	Tamaki N, <u>Kurosaki M</u> , Matsuda S, Nakata T, Muraoka M, Suzuki Y, Yasui Y, Suzuki S, Hosokawa T, Nishimura T, Ueda K, Tsuchiya K, Nakanishi H, Itakura J, Takahashi Y, Matsunaga K, Taki K, <u>Asahina Y</u> , <u>Izumi N</u>	Hepatology Res 44: 720–727	2014	国内
Liver stiffness measurement by acoustic radiation force impulse is useful in predicting the presence of esophageal varices or high-risk esophageal varices among patients with HCV-related cirrhosis.	Morishita N, <u>Hiramatsu N</u> , Oze T, Harada N, Yamada R, Yakushijin T, Miyazaki M, Miyagi T, Yoshida Y, Tatsumi T, Kanto T, Takehara T.	J Gastroenterol.	in press	国内

The prospective randomized study on telaprevir at 1500 mg or 2250 mg with pegylated interferon plus ribavirin in Japanese patients with HCV genotype 1.	Oze T, <u>Hiramatsu N</u> , Yakushijin T, Yamada R, Harada N, Morishita N, Yamada A, Oshita M, Kaneko A, Suzuki K, Inui Y, Tamura S, Yoshihara H, Imai Y, Miyagi T, Yoshida Y, Tatsumi T, Kasahara A, Hayashi N, Takehara T.	J Gastroenterol.	in press	国内
The real impact of telaprevir dosage on the antiviral and side effects of telaprevir, pegylated interferon and ribavirin therapy for chronic hepatitis C patients with HCV genotype 1.	Oze T, <u>Hiramatsu N</u> , Yakushijin T, Yamada R, Harada N, Morishita N, Oshita M, Mita E, Ito T, Inui Y, Inada M, Tamura S, Yoshihara H, Imai Y, Kato M, Miyagi T, Yoshida Y, Tatsumi T, Kasahara A, Hayashi N, Takehara T.	J Viral Hepat.	in press	国外
Type III インターフェロン	玉城信治、 <u>泉並木</u>	文光堂	2014	国内
データマイニングによる予後・治療反応予測	<u>黒崎雅之</u> 、 <u>泉並木</u>	文光堂	2014	国内
肝発癌リスクの評価	<u>黒崎雅之</u> 、 <u>泉並木</u>	文光堂	2014	国内
Clinical efficacy of non-transplant therapies in patients with hepatocellular carcinoma with Child-Pugh C liver cirrhosis.	Nishikawa H, Kita R, Kimura T, Ohara Y, Takeda H, Sakamoto A, Saito S, Nishijima N, Nasu A, Komekado H, <u>Osaki Y.</u>	Anticancer Res. 34:3039-44, 2014.	2014	国外
Clinical significance of early interventional therapy of branched-chain amino acid granules in patients with hepatocellular carcinoma: Propensity score matching analysis.	Nishikawa H, Kita R, Kimura T, Ohara Y, Takeda H, Sakamoto A, Saito S, Nishijima N, Nasu A, Komekado H, <u>Osaki Y.</u>	Int J Oncol. 45:1082-90	2014	国外
Transcatheter arterial chemoembolization for intermediate-stage hepatocellular carcinoma: clinical outcome and safety in elderly patients.	Nishikawa H, Kita R, Kimura T, Ohara Y, Takeda H, Sakamoto A, Saito S, Nishijima N, Nasu A, Komekado H, <u>Osaki Y.</u>	J Cancer. 5:590-7	2014	国外
Transcatheter Arterial Embolic Therapies for Hepatocellular Carcinoma: A Literature Review.	Nishikawa H, Kita R, Kimura T, <u>Osaki Y</u>	Anticancer Res34:6877-86	2014	国外

Effect of nucleoside analog use in patients with hepatitis B virus-related hepatocellular carcinoma.	Nishikawa H, Nishijima N, Arimoto A, Inuzuka T, Kita R, Kimura T, <u>Osaki Y.</u>	Hepatol Res. 44:608-20	2014	国外
Comparison of transcatheter arterial chemoembolization and transcatheter arterial chemotherapy infusion for patients with intermediate-stage hepatocellular carcinoma	Nishikawa H, <u>Osaki Y.</u> , Kita R, Kimura T, Ohara Y, Takeda H, Sakamoto A, Saito S, Nishijima N, Nasu A, Komekado H, Nishiguchi S.	Oncol Rep. 31:65-72	2014	国外
Comparison of standard-dose and half-dose sorafenib therapy on clinical outcome in patients with unresectable hepatocellular carcinoma in field practice: A propensity score matching analysis.	Nishikawa H, <u>Osaki Y.</u> , Endo M, Takeda H, Tsuchiya K, <u>Joko K.</u> , Ogawa C, Taniguchi H, <u>Orito E.</u> , Uchida Y, <u>Izumi N.</u>	Int J Oncol. 45:2295-302, 2014.	2014	国外
Clinical implication of the preoperative GSA index in 99mTc-GSA scintigraphy in hepatitis C virus-related hepatocellular carcinoma.	Nishikawa H, <u>Osaki Y.</u> , Komekado H, Sakamoto A, Saito S, Nishijima N, Nasu A, Arimoto A, Kita R, Kimura T.	Oncol Rep. Dec 22,	2014	国外
Clinical significance of the FIB-4 index for non-B non-C hepatocellular carcinoma treated with surgical resection.	Nishikawa H, <u>Osaki Y.</u> , Komekado H, Sakamoto A, Saito S, Nishijima N, Nasu A, Arimoto A, Kita R, Kimura T.	Oncol Rep. Oct 3	2014	国外
Clinical significance of therapy using branched-chain amino acid granules in patients with liver cirrhosis and hepatocellular carcinoma..	Nishikawa H, <u>Osaki Y.</u>	Hepatol Res. 44:149-58	2014	国内
Sorafenib Therapy for BCLC Stage B/C Hepatocellular Carcinoma; Clinical Outcome and Safety in Aged Patients: A Multicenter Study in Japan.	Nishikawa H, Takeda H, Tsuchiya K, <u>Joko K.</u> , Ogawa C, Taniguchi H, <u>Orito E.</u> , Uchida Y, <u>Osaki Y.</u> , <u>Izumi N.</u>	J Cancer. 5:499-509	2014	国外
Clinical significance of pretreatment serum interferon-gamma-inducible protein 10 concentrations in chronic hepatitis C patients treated with telaprevir-based triple therapy.	Nishikawa H, Enomoto H, Nasu A, Aizawa N, Saito M, Tamori A, Kawada N, Kimura T, <u>Osaki Y.</u> , Nishiguchi S.	Hepatol Res. 44:E397-E407	2014	国内
Treatment for hepatocellular carcinoma in Japan over the last three decades:Our experience and published work review.	<u>Osaki Y.</u> , Nishikawa H.	Hepatol Res. Jul 18	2014	国外

Effect of treatment with branched-chain amino acids during sorafenib therapy for unresectable hepatocellular carcinoma.	Takeda H, Nishikawa H, Iguchi E, Ohara Y, Sakamoto A, Saito S, Nishijima N, Nasu A, Komekado H, Kita R, Kimura T, <u>Osaki Y.</u>	Hepatol Res. 44:302-12,	2014	国内
Clinical features associated with radiological response to sorafenib in unresectable hepatocellular carcinoma: a large multicenter study in Japan.	Takeda H, Nishikawa H, <u>Osaki Y.</u> , Tsuchiya K, <u>Joko K.</u> , Ogawa C, Taniguchi H, <u>Orito E.</u> , Uchida Y, <u>Izumi N.</u>	Liver Int. May 16,	2014	国外
Comparison of systems for assessment of post-therapeutic response to sorafenib for hepatocellular carcinoma.	Arizumi T, Ueshima K, Takeda H, <u>Osaki Y.</u> , Takita M, Inoue T, Kitai S, Yada N, Hagiwara S, Minami Y, Sakurai T, Nishida N, Kudo M.	J Gastroenterol. 49:1578-87	2014	国外
Recent progress in radiofrequency ablation therapy for hepatocellular carcinoma.	Ikeda K, <u>Osaki Y.</u> , Nakanishi H, Nasu A, Kawamura Y, Jyoko K, Sano T, Sunagozaka H, Uchino K, Minami Y, Saito Y, Nagai K, Inokuchi R, Kokubu S, Kudo M.	Oncology. Nov 22,	2014	国外
Reactivation from occult HBV carrier status is characterized by low genetic heterogeneity with the wild-type or G1896A variant prevalence.	Inuzuka T, Ueda Y, Morimura H, Fujii Y, Umeda M, Kou T, <u>Osaki Y.</u> , Uemoto S, Chiba T, Marusawa H.	J Hepatol. 61:492-501,	2014	国外
Daclatasvir combined with peginterferon alfa-2a and ribavirin in Japanese patients infected with hepatitis C genotype 1.	<u>Izumi N.</u> , Yokosuka O, Kawada N, <u>Osaki Y.</u> , Yamamoto K, Sata M, Ishikawa H, Ueki T, Hu W, McPhee F, Hughes EA, Kumada H.	Antivir Ther. 9:501-10	2014	国外
Virologic escape in HCV genotype 1-infected patients receiving daclatasvir plus ribavirin and peginterferon alfa-2a or alfa-2b.	McPhee F, Hernandez D, Zhou N, Yu F, Ueland J, Monikowski A, Chayama K, Toyota J, Izumi N, Yokosuka O, Kawada N, <u>Osaki Y.</u> , Hughes EA, Watanabe H, Ishikawa H, Kumada H.	Antivir Ther. 19:479-90	2014	国外
Relevance of the Core 70 and IL-28B polymorphism and response-guided therapy of peginterferon alfa-2a ± ribavirin for chronic hepatitis C of Genotype 1b: a multicenter randomized trial, ReGIT-J study.	Nishiguchi S, Enomoto H, Aizawa N, Nishikawa H, <u>Osaki Y.</u> , Tsuda Y, Higuchi K, Okazaki K, Seki T, Kim SR, Hongo Y, Jyomura H, Nishida N, Kudo M.	J Gastroenterol. 49:492-501	2014	国外

Survey of survival among patients with hepatitis C virus-related hepatocellular carcinoma treated with peretinoin, an acyclic retinoid, after the completion of a randomized, placebo-controlled trial.	Okita K, <u>Izumi N</u> , Ikeda K, <u>Osaki Y</u> , Numata K, Ikeda M, Kokudo N, Imanaka K, Nishiguchi S, Kondo S, Nishigaki Y, Shiomi S, Ueshima K, Isoda N, Karino Y, Kudo M, Tanaka K, Kaneko S, Moriwaki H, Makuuchi M, Okusaka T, Hayashi N, Ohashi Y, Kumada H ; The Peretinoin Study Group.	J.Gastroenterol. Sep 11,	2014	国外
Peretinoin after curative therapy of hepatitis C-related hepatocellular carcinoma: a randomized double-blind placebo-controlled study.	Okita K, <u>Izumi N</u> , Matsui O, Tanaka K, Kaneko S, Moriwaki H, Ikeda K, <u>Osaki Y</u> , Numata K, Nakachi K, Kokudo N, Imanaka K, Nishiguchi S, Okusaka T, Nishigaki Y, Shiomi S, Kudo M, Ido K, Karino Y, Hayashi N, Ohashi Y, Makuuchi M, Kumada H.	J.Gastroenterol. Apr 13,	2014	国外
Risk of hepatocellular carcinoma in cirrhotic HBV patients during nucleot(s)ide analogues therapy.	<u>Orito E</u> , <u>Hasebe C</u> , <u>Kurosaki M</u> , <u>Osaki Y</u> , Jyoko K, Watanabe H, Kimura H, Nishijima N, Kusakabe A, <u>Izumi N</u> ; Japanese Red Cross Liver Network.	Hepatol Res. Sep 22,	2014	国内
Noninvasive diagnosis of liver fibrosis: utility of data mining of both ultrasound elastography and serological findings to construct a decision tree.	Yada N, Kudo M, Kawada N, Sato S, <u>Osaki Y</u> , Ishikawa A, Miyoshi H, Sakamoto M, Kage M, Nakashima O, Tonomura A.	Oncology. Nov 22, 2014.	2014	
切除不能肝細胞癌に対するソラフェニブ療法の減量開始は妥当かー Propensity score matching 法による検討ー	遠藤正嗣, 竹田治彦, 西川浩樹, 土谷 薫, 上甲康二, 小川 力, 谷口博順, 折戸悦郎, 内田 靖, 泉 並木, 大崎往夫.	The Liver Cancer Journal. メディカルレビュー社. 6:268-9	2014	国内
Gd-EOB-DTPA造影MRI肝細胞相にて異なる信号強度を呈する結節が併存した肝細胞癌の3症例.	喜多竜一, 坂本 梓, 井口恵里子, 竹田治彦, 大原芳章, 西島規浩, 齋藤澄夫, 那須章洋, 西川浩樹, 木村 達, 大崎往夫, 若狭朋子, 中沼安二, 松井 修.	日本消化器病学会雑誌. 111:940-7	2014	国内
C型関連肝癌の治療ー予後の変遷.	西川浩樹, 大崎往夫.	臨床消化器内科. 日本メディカルセンター	2014	国内
ソラフェニブ投与後3年以上生存例の検討.	西島規浩, 竹田治彦, 土谷 薫, 上甲康二, 河南智晴, 谷口博順, 折戸悦郎, 内田 靖, 泉 並木, 大崎往夫	The Liver Cancer Journal. メディカルレビュー社	2014	国内

B型肝炎, 最近の動向－診断, 治療, 再活性とその対策－	太崎往夫	住吉区医師会報. 387:26-29,	2014	国内
ラジオ波焼灼療法(RFA)の治療効果判定. Hepatology Practice 肝癌の診療を極める－基本から最前線まで	太崎往夫	文光堂. 5:162-165	2014	国内
肝動脈化学塞栓療法. 今日の治療指針2014年版.	太崎往夫	医学書院. P497	2014	国内
分子標的治療の現状と新たなる展開	太崎往夫	肝胆臓. アークメディア. 69:977-982	2014	国内
腫瘍内出血を認めた肝細胞線腫 (hepatocyte nuclear factor 1α - inactivated type)の一例.	幡丸景一, 喜多竜一, 那須章洋, 西川浩樹, 木村 達, 太崎往夫, 若狭朋子, 中島収, 中沼安二, 松井 修	肝臓. 日本肝臓学会. 55:731-738	2014	国内
Real-time Virtual Sonographyが肝癌診療にもたらしたもの－当院における10年の経験から.	木村 達, 坂本 梓, 喜多竜一, 米門秀行, 西川浩樹, 那須章洋, 西島規浩, 太崎往夫	MEDIX. 60:4-10	2014	国内